

第1回 (2020年度) 日本セラミックス協会功績大賞受賞者

やすだ えいいち
安田 榮一 氏



安田榮一氏は、セラミックスの粒界構造の解析による高温クリープの改善、SiC ウィスカーとの複合材の開発による靱性の向上、炭素繊維・炭素複合材料の組織制御による特性制御および耐酸化性の向上、カーボンアロイの提唱等の研究を進め、学会・産業界の発展に貢献した。これらの業績は多くの受賞に結び付いた。同氏は、日本工業標準調査会 (JIS) の窯業部会委員、国際誌 JMR 誌や Carbon 誌等の編集委員として活躍し、複合材料学会副会長、日本学術振興会・産学協力研究委員会・炭素材料第 117 委員会委員長を務め、国内外の学協会の発展に貢献した。同氏の日本セラミックス協会における活動は、高温構造材料部会長、標準化部会委員、副会長、会長などの要職の歴任に代表され、本会の目的とする専門産業技術分野の発展に資する部会活動、標準化・規格化のための活動、国際交流に関する活動に長年にわたって尽力し、本会の目的達成に大きく貢献した。また、会長退任後は顧問として本会の運営を諮問し、名誉会員、フェローとして協会のさらなる発展に継続して貢献した。

以上、同氏は本会における活動を通じてセラミックス分野の発展に顕著な業績を挙げるとともに、長年にわたって日本セラミックス協会の活動に極めて多大な貢献をした。よって、日本セラミックス協会功績大賞として表彰する。

略歴 1971年3月東京工業大学・大学院理工学研究科・博士課程修了、同年4月東京工業大学工業材料研究所助手、1975年6月～1977年12月西独カールスルーエ大学研究員 (フンボルト奨学生)、1982年9月東京工業大学工業材料研究所助教授、1988年11月東京工業大学工業材料研究所教授、1996年5月東京工業大学応用セラミックス研究所附属構造デザイン研究センター教授、1999年4月東京工業大学応用セラミックス研究所長、2008年3月定年退職、同年名誉教授。同年4月特命教授、2009年4月特任教授、2011年3月退職

受賞歴 1977年窯業協会進歩賞、1992年日本セラミックス協会学術賞、2001年 Professional Member of World Academy of Ceramics、2003年米国セラミック学会フェロー表彰、同2008年石川カーボン賞、2016年日本セラミックス協会フェロー表彰

協会歴 1993年度、1995年度～1998年度、2002年度～2009年度理事 (2002年度～2006年度副会長、2007年度会長)、2016年度～顧問、2018年度～名誉会員